

平成20年度  
(第2期事業年度)

# 決算報告書

自 平成20年4月 1日

至 平成21年3月31日

公立大学法人 島根県立大学

# 平成20年度 決算報告書

公立大学法人島根県立大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,666	1,637	▲ 29	(注1)
特殊要因経費補助金	50	50	0	
自己収入	1,043	1,092	49	
授業料及び入学金検定料	956	995	39	(注2)
その他収入	87	97	10	(注3)
外部補助金収入	82	106	24	(注4)
寄附金収入等	66	46	▲ 20	(注5)
計	2,907	2,930	23	
支出				
業務費	2,857	2,715	▲ 142	
教育研究経費	716	682	▲ 34	(注6)
人件費	1,676	1,578	▲ 98	(注7)
一般管理費	465	455	▲ 10	(注8)
施設整備費	50	50	0	
計	2,907	2,765	▲ 142	
収入－支出	0	165	165	

## ■ 予算額と決算額の差異について

- (注1) 退職手当支給額の減に伴い、運営費交付金退職手当分収入が減少し、予算額に対して29百万円減少しました。
- (注2) 定員を上回る入学者の確保等により、予算額に対して39百万円増加しました。
- (注3) 学生寮在寮日数の増、施設利用者数の増等により、予算額に対して10百万円増加しました。
- (注4) 文部科学省からの「大学改革推進等補助金」の獲得により、予算額に対し24百万円増加しました。
- (注5) 旧NEAR財団寄附金収入の減等により、予算額に対し20百万円減少しました。
- (注6) 文部科学省補助金事業増の一方、教育研究費や寄附金事業が実績減したこと等により、予算額に対して34百万円減少しました。
- (注7) 退職手当支給額の減及び育休・産休の増、教員の採用予定者の減等により、予算額に対して98百万円減少しました。
- (注8) 施設管理業務委託一括契約、複写機一括契約及び修繕工事の入札減など経費節減に努めた結果、予算額に対して10百万円減少しました。

## ■ 損益計算書の計上金額と決算額の差異について

- ① 決算報告書では一般管理費でまとめて執行している委託費等を、損益計算書では各業務費(教育経費、研究経費、教育研究支援経費)に配賦しているため、費目ごとの額に差異が生じます。
- ② 寄附金収入のうち支出を伴わないものについては、決算収入額には計上される一方、財務諸表上は貸借対照表のみの会計処理となるため、計上額に差異が生じます。